



子どもたちへ絵本の読み聞かせボランティア

●ボランティア活動施設
この施設は、次の2つの目的をもとに一般に向けて広く開放しており、観光客の方や地元住民の方が利用されています。
(1) 知床世界自然遺産の森林に関する情報提供
(2) ボランティア活動の場を提供
無料で貸切りもっており、ボランティア活動

斜里郡斜里町ウトロに位置する知床森林生態系保全センターには庁舎内や周辺に3つの施設があります。今回は、これらの施設の活用状況を紹介いたします。

世界自然遺産の管理については単独の機関のみで解決・遂行できることは少なく、このような関係機関との連携が重要に



知床ヒグマ対策連絡会議

●会議室
センター庁舎内にある会議室は、主に環境省や北海道、斜里町、知床財団など関係機関との会議や打合せの場に使われています。

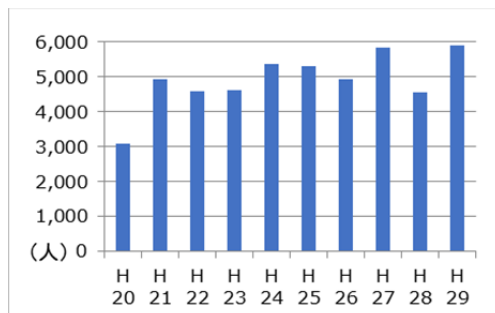
やイベントが行われています。その中でも絵本の読み聞かせや、木育を目的とした遊びのイベントなど子ども向けの内容が多い傾向にあります。

●国設知床野営場
当野営場は、網走南部森林管理署の管轄内の敷地で、知床斜里町観光協会によって運営されています。キャンプ場は6月から9月末まで開設しており、冬期にはイベント「知床流水フェス」も行われます。
近年の野営場の利用者数は年間約6千人(下図参照)で、台風などの影響で多少の増減はあるものの、近年のアウトドアブームの影響が増加傾向にあります。比較的道外客の割合が高く、夏休み期間はファミリー層を中心に連泊される方が多くなります。
以上のように当センターでは、付属施設を地元

なってきました。そのほか、我々の業務内だけではなく、知床で活動するガイドさんや知床に関係する団体の会議や研修の場としても使われています。



国設知床野営場



図：知床野営場利用者数（10年間）

※H20～H23は6月20日～9月20日まで開設
H23～H29は6月1日～9月30日まで開設

住民や観光客の方にも利用していただくことで有効活用されています。これからも地域に根ざした拠点となるよう日々努めていきます。